

2012年11月22日
東日本旅客鉄道株式会社

「社会環境報告書2012」の発行について

このたび、JR東日本グループの環境などへの取組みをまとめた「社会環境報告書2012」を発行いたします。

持続可能な社会へ向けたJR東日本グループの活動を、環境、安全、社会の3つの側面から幅広くご紹介いたします。

1. 社会環境報告書の発行

JR東日本グループの持続可能な社会へ向けた取組みについて、環境（地球温暖化防止、資源循環など）、安全（究極の安全に向けた取組み、安全文化の創造など）、社会（サービス品質の改革、地域社会への貢献、社員の働きがいなど）について幅広くご紹介する「社会環境報告書2012」を発行いたします。

本報告書を通じて、多くの方に当社グループの取組みをご理解いただくとともに、ご意見をいただけるきっかけとして活用してまいります。

今回作成した社会環境報告書の主なポイントは次のとおりです。

今年度の「特集」は、次の内容といたしました。

- ・東日本地域の生活インフラとして ～ 東日本大震災復旧・復興の1年～
- ・研究開発10年の取組み
- ・環境：エコステ
- ・社会：Suica10周年と今後

環境のページでは、環境目標に対する実績や新たな取組み等についてご説明するものとしました。

安全のページでは、当社における安全の考え方や、「究極の安全」に向けた設備投資の概要、安全マネジメント体制、安全に関する具体的な対策等についてご説明するものとしました。

社会のページでは、お客さま、地域社会、社員の観点から、それぞれにおいて継続して行っている取組みや、新しく動き出した取組み等をご説明するものとしました。

2. 新しい環境目標について

新たな環境目標を別紙の通り定めました。目標達成に向け継続的に取り組んでまいります。

詳しくは、当社ホームページ（<http://www.jreast.co.jp/eco/>）で「社会環境報告書2012」をご覧ください。

【JR東日本単体目標】

環境保全活動の分類	2011年度までの目標	新目標（2012年度以降の目標）
地球温暖化防止への取組み	・鉄道事業のCO ₂ 総排出量 2017年度までに32%削減（1990年度比） 276万t-CO ₂ 188万t-CO ₂ （88万t-CO ₂ 削減）	[2020年度達成目標] 鉄道事業のエネルギー使用量8%削減（MJ 2010年度比） [2020年度達成目標] 自営電力のCO ₂ 排出係数30%改善（kg-CO ₂ /kWh 1990年度比）
	・鉄道事業のCO ₂ 総排出量 2030年度までに50%削減（1990年度比） 276万t-CO ₂ 138万t-CO ₂ （138万t-CO ₂ 削減）	1

環境保全活動の分類	項目	2010年度目標	新目標（2013年度達成目標）
地球温暖化防止への取組み	省エネルギー車両比率	86%	単位輸送量あたり 列車運転用電力量6.8%削減 （kWh/車キロ 2006年度比）
	列車運転用電力量	2%削減（2006年度比） 41.7億kWh 40.9億kWh	
	単位輸送量あたり 列車運転用電力量	2%削減（2006年度比） 1.85kWh/車キロ 1.81kWh/車キロ	
	駅・オフィス等における省エネ	4.5%削減（2006年度比） 153億MJ 146億MJ	支社等における単位床面積あたり エネルギー使用量3%削減 （kL（原油換算）/m ² 2010年度比）
資源循環への取組み	駅・列車ゴミのリサイクル率	70%	90%
	総合車両センター等で発生する廃棄物のリサイクル率	95%	95%
	設備工事で発生する廃棄物のリサイクル率	92%	95%
沿線での環境活動	東北・上越新幹線の騒音対策75dB以下 （騒音対策対象地域について）	100% （2009年度達成目標）	[2015年度達成目標] 東北・上越新幹線の騒音対策75dB以下 ² （騒音対策対象地域について）100%

1 2030年度目標は、政府のエネルギー政策等の動向を見極めつつ対応します。

2 国の指導により指定された地域の75dB対策については既に完了しています。現在、2015年度完了を目的に、それ以外の地域についても段階的に改良工事を進めています。

【グループの目標】

環境保全活動の分類	項目	2010年度目標	新目標（2013年度達成目標）
資源循環への取組み	事務用紙の再生紙利用率	100%	グリーン購入実施率100%
環境コミュニケーション	毎年具体的な環境保護活動	森づくりへの参加等	
環境マネジメント	全グループ会社が具体的な数値目標を設定	全グループ会社が数値目標を設定	継続して目標設定